

21 西三河 2009年(平成21年)8月30日(日曜日)

## 敬語意識の変化報告

国語研究所 岡崎市民に調査

国立国語研究所(東京都立川市)が岡崎市民を対象に一九五三(昭和二十八)年から続けている「ことばの調査」の結果報告会が二十九日、同市康生通西の市図書館交流プラザであった。

二〇〇八年度に行われた最新の第三回調査の結果を踏まえ、杉戸清樹所長らが登壇。三十代以上は「です」「ます」を日常使う普通の会話言葉だと感じているが、最近の若者の間では、敬語と意識する人が増えたことなどが報告された。

てに参加し、アンケート、面談に応じた同市門前町の弓具店経営林忠茂さん(八十)と、第三回に参加した同市伝馬通の呉服店経営奥瀬勇作さん(六十)を中心にした座談会もあった。

調査に岡崎市が選ば

れたのは、地元が協力的だったことや、多様な方言敬語があり比較的標準語が通じやすいことなどから。概要は同研究所ホームページで閲覧できる。HPは「ことばの調査、岡崎」で検索。(中野祐紀)

過去三回の調査すべ